



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL : 048-644-6251**教育目標**

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

児童が安心できる学校になるように

校長 白石 徳一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、創立50周年実行委員会の皆様にお世話になり、たくさんの記念行事を行い、節目の年となりました。本年は、本校がすべての児童にとって安心できる学校になりますように、保護者・地域の皆様方と共に力を尽くしてまいりたいと存じます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

▶思いやりのあふれる学校に

「ハーバード大学成人発達研究」によると、「良い人間関係が私たちの幸福と健康を高めてくれる」ことがわかったそうです。これは、児童にとっても、良い人間関係を構築することが重要であり、良い人間関係を基盤として、心も体も健康に成長していけるのではないかと思います。

2学期の終業式に子ども達に話した「天国と地獄の長い箸」という話を紹介します。世界には似た話がいくつかあるようなので、私が知っているお話ということでご了解ください。

昔、天国と地獄を見てきた男の人がいました。その人は、まず地獄の様子を見てきました。地獄は悪い人が死んだあとにいく世界です。覗いてみると、テーブルの上にたくさんのごちそうが並んでいます。でも、地獄の人はテーブルの上のごちそうを食べられなくて、みんな痩せています。食べようと思っても、うまく食べられないのです。地獄では、食事をする時には、長いお箸を使うように神様に決められていたからです。手よりもお箸が長いので、ご馳走をつまんで、口に運ぼうと思っても、うまく口に入りません。目の前にごちそうがあるのに、みんなうまく食べられなくて痩せていたのです。

男の人は、次に、天国の様子を見てきました。天国でも、テーブルにたくさんのごちそうが並んでいます。そして、驚いたことに天国の人も地獄の人と同じ長いお箸で食事をしていました。でも、天国の人たちは、みんなおいしそうにごちそうを食べています。みなさんは、どうしてかわかりますか？

天国の人は、長いお箸でご馳走を取ると、自分で食べるのではなく向かいに座っている人に食べさせてあげていたのです。すると、向かいに座っている人も長いお箸でご馳走を食べさせてくれました。

こうして天国の人は、地獄の人と同じ長いお箸でも「はい、どうぞ」と相手に食べさせて、相手も「はい、どうぞ」とお返しをして、ご馳走を食べていたのです。

この話は親切にしたりされたりすることの大切さを教えてくれているように思います。人のために何ができるかを考え、思いやりや助け合いにあふれた学校になれば、お互いに毎日がもっと楽しくなると思います。

▶いじめのない学校に

いじめのない学校にすることは大変重要な課題です。防災には「自助、共助、公助」がありますが、いじめ撲滅にも「自分にできること、友達とできること、教師ができること」があり、さらに、「家庭教育でできること」もあるように思います。

まずは一人ひとりが「いじめをしない」ことが大切ですが、いじめを止める、いじめられている子を助ける、または、教員などに伝えるなど、いじめを止める集団を作ることが大切です。教員も道徳や学活などの授業や学校生活の中で繰り返し指導し、いじめを見逃さないよう力を尽くします。ご家庭でも「いじめをしてはいけないこと」「いじめを見て見ぬふりをしてはいけないこと」などについてお話しいただけたらと存じます。そして、子ども達の安心のために、登校時間と勤務開始時刻の一致にもご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。